

決算説明資料

～2016年3月期～

説明会開催予定日
2016年5月11日（水）
日本ハム株式会社

目 次

- I. 2016年3月期 期末連結業績の総括
- II. 2017年3月期の見通し
- III. 2016年3月期 期末財務データ

I. 2016年3月期 期末連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 通期
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別 業績
7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期

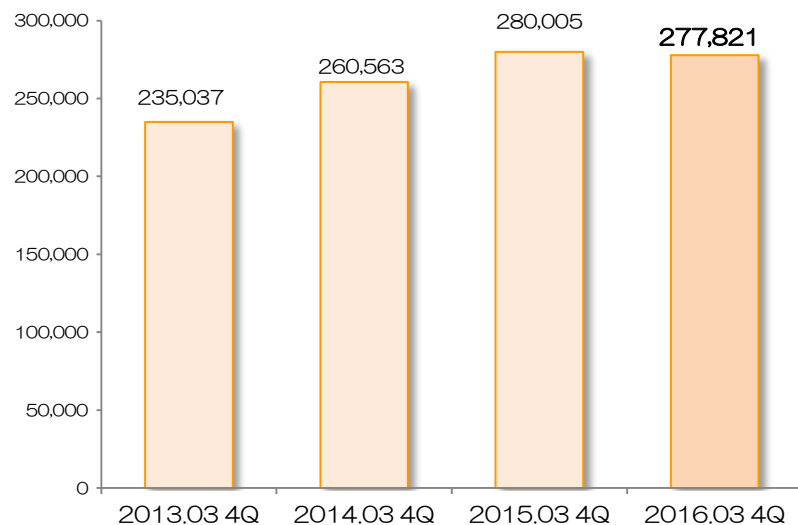
(単位：百万円)

		2013.03 4Q	2014.03 4Q	2015.03 4Q	2016.03 4Q	前年差	前年比 (%)
加工事業本部	売上高	76,293	79,941	79,917	79,766	△151	△ 0.2
	営業利益	△ 293	△ 756	△ 2,844	△ 991	1,853	-
食肉事業本部	売上高	157,588	180,548	199,940	193,795	△6,145	△ 3.1
	営業利益	2,848	6,873	7,670	5,381	△2,289	△ 29.8
関連企業本部	売上高	29,422	33,214	33,362	34,476	1,114	3.3
	営業利益	△ 228	△ 440	△ 584	249	833	-
消去調整他	売上高	△ 28,266	△ 33,140	△ 33,214	△ 30,216	2,998	-
	営業利益	32	224	243	134	△109	-
連結合計	売上高	235,037	260,563	280,005	277,821	△2,184	△ 0.8
	営業利益	2,359	5,901	4,485	4,773	288	6.4

※2016年3月期のセグメント体制にて掲載しております。

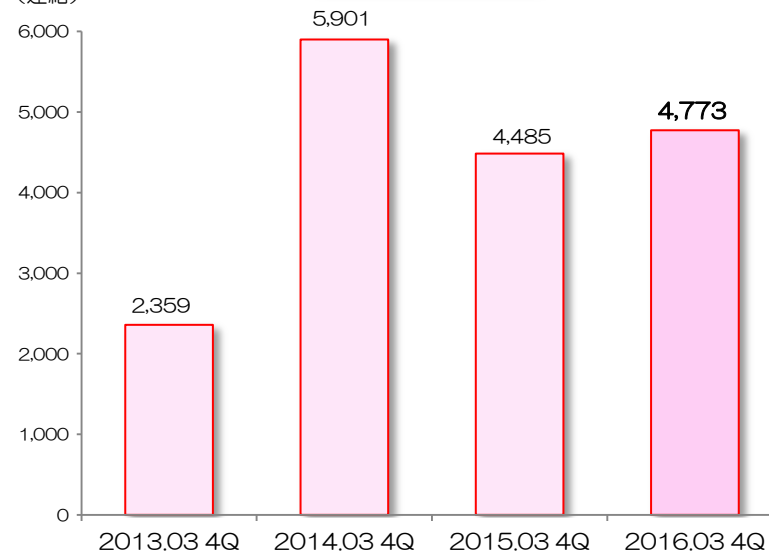
(単位：百万円)

(連結)

売上高


(単位：百万円)

(連結)

営業利益


※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.23の品種別の売上高の数値とは一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

2. オペレーティング・セグメント情報 通期

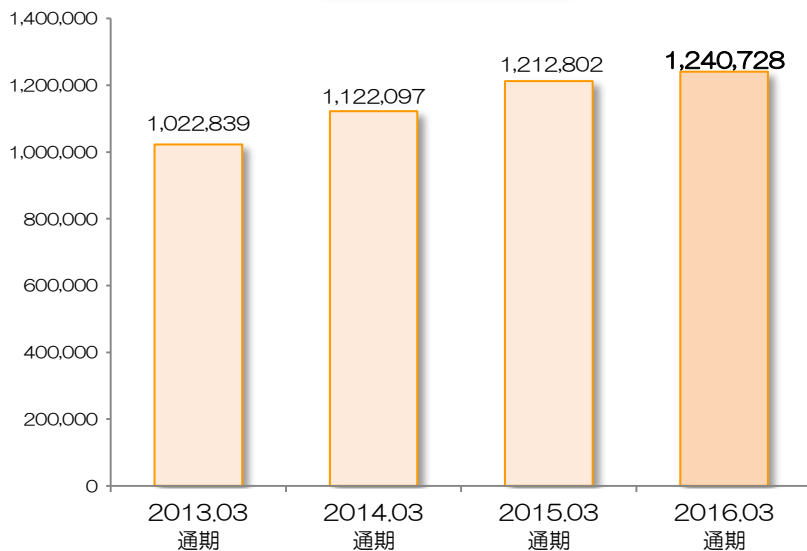
(単位：百万円)

		2013.03 通期	2014.03 通期	2015.03 通期	2016.03 通期	前年差	前年比 (%)
加工事業本部	売上高	339,906	353,162	361,481	356,581	△4,900	△ 1.4
	営業利益	9,628	6,543	2,151	4,054	1,903	88.5
食肉事業本部	売上高	672,785	765,395	849,320	877,334	28,014	3.3
	営業利益	15,497	26,753	45,121	39,660	△5,461	△ 12.1
関連企業本部	売上高	137,645	148,138	155,164	159,371	4,207	2.7
	営業利益	1,527	998	287	2,281	1,994	694.8
消去調整他	売上高	△ 127,497	△ 144,598	△ 153,163	△ 152,558	605	-
	営業利益	1,369	1,406	885	345	△540	-
連結合計	売上高	1,022,839	1,122,097	1,212,802	1,240,728	27,926	2.3
	営業利益	28,021	35,700	48,444	46,340	△2,104	△ 4.3

※2016年3月期のセグメント体制にて掲載しております。

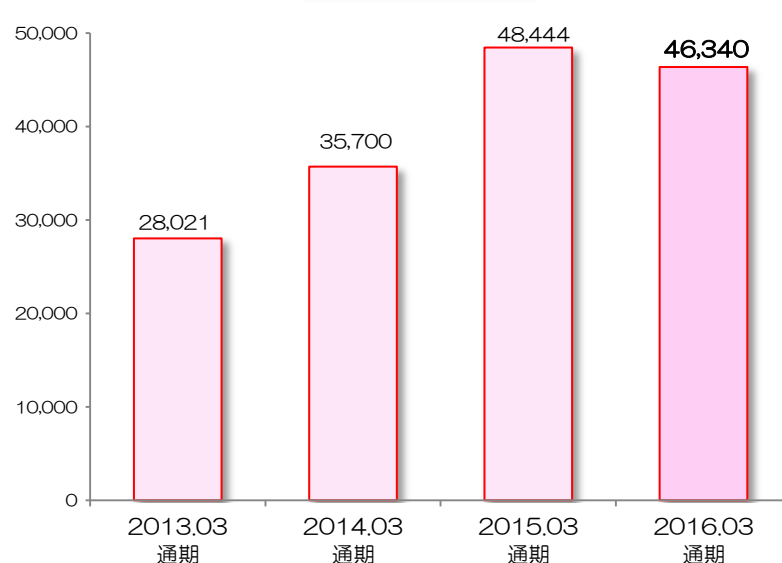
(単位：百万円)

(連結)

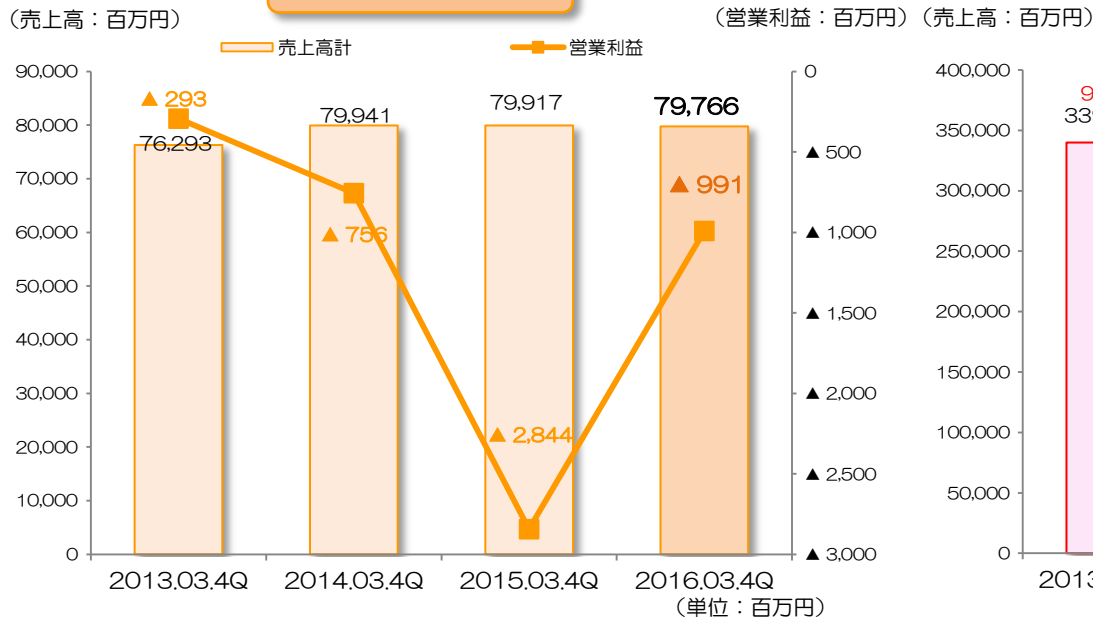
売上高


(単位：百万円)

(連結)

営業利益

 ※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.23の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部①

第4四半期実績


	2015.03 4Q	2016.03 4Q	前年差	前年比(%)
売上高計	79,917	79,766	△ 151	△ 0.2
営業利益	△ 2,844	△ 991	1,853	-
営業利益率	△3.6%	△1.2%	-	-

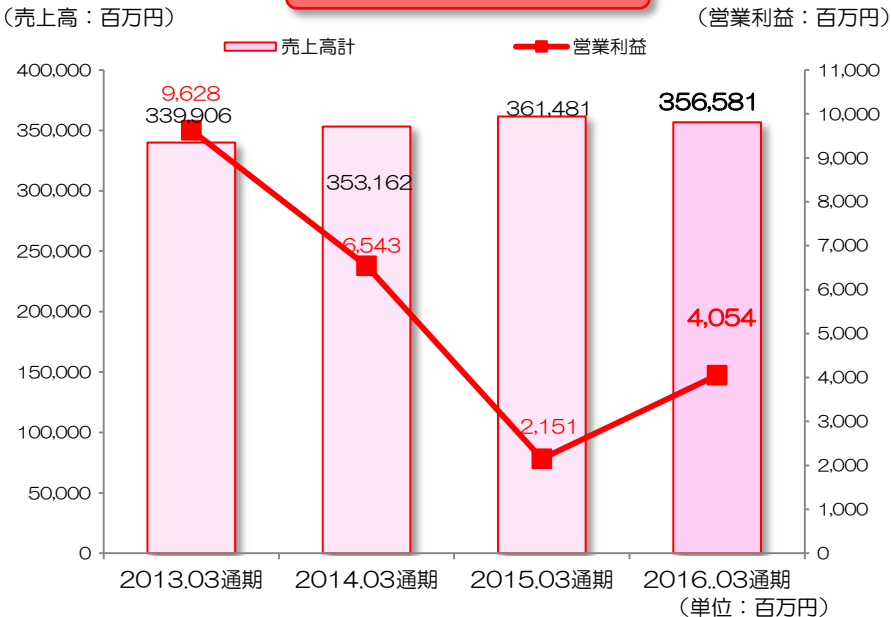
【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・ コンシューマ新商品の前倒し投入が寄与したものの業務用商品の数量回復が遅れ微減。

(営業利益)

- ・ 新商品投入等により、粗利益が改善した事に加え原燃料価格も好転し回復基調。

通期実績


	2015.03 通期	2016.03 通期	前年差	前年比(%)
売上高計	361,481	356,581	△ 4,900	△ 1.4
営業利益	2,151	4,054	1,903	88.5
営業利益率	0.6%	1.1%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

- ・ コンシューマ商品、業務用商品共に回復傾向にはあるが、回復スピードが遅く減収。

(営業利益)

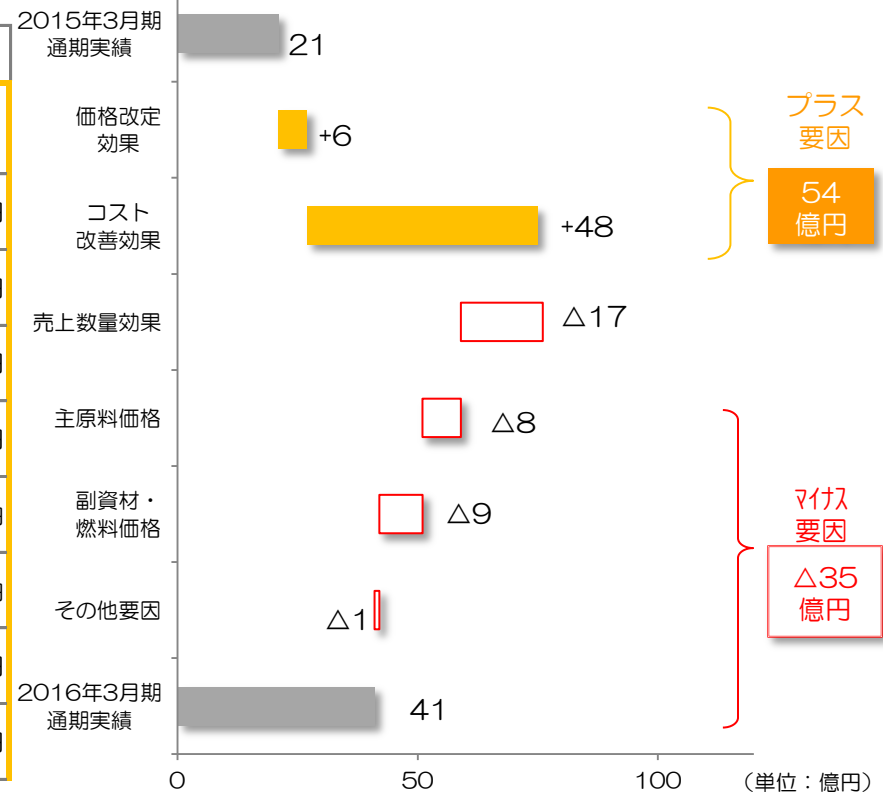
- ・ 品種構成の見直しや下期に入りNB品の数量が回復し、原料価格が落ち着いた事による粗利益の改善により増益。

【営業利益増減要因分析】

	2016.03				
	3Q 累計	4Q 実績	通期 計画	通期 実績	計画 差異
価格改定効果	6億円	0億円	6億円	6億円	0億円
コスト改善効果	40億円	8億円	49億円	48億円	△1億円
売上数量効果	△19億円	2億円	△16億円	△17億円	△1億円
主原料・副資材要因	△25億円	8億円	△20億円	△17億円	3億円
（内訳）主原料価格	△16億円	8億円	△10億円	△8億円	2億円
（内訳）副資材・燃料等	△9億円	0億円	△10億円	△9億円	1億円
その他要因	△2億円	1億円	△1億円	△1億円	0億円
合計	0億円	19億円	18億円	19億円	1億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【通期実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（2016年3月期通期）

- 【コスト改善効果】・・・品種統廃合等の粗利益改善を行いほぼ計画通りに進んだ。
- 【主原料価格】・・・下期に入り豚肉を中心に原材料価格が好転し、計画を上回った。
- 【売上数量効果】・・・業務用商品の数量回復が遅れ、計画を下回った。

●ギフト売上実績（通期）

- 2016年3月期の実績は、歳暮ギフト市場の落ち込みに伴い個数昨年比91%。
- 『美ノ国』に関しては歳暮ギフトでも昨年比105%、通期でも昨年比109%と伸長。（※構成比は23%）

（単位：千個）

		2015.03 実績		2016.03 実績	
		個数		個数	前年比
中元	全社販売個数	2,116		2,070	98%
	(うち美ノ国)	431		507	118%
歳暮	全社販売個数	4,442		3,878	87%
	(うち美ノ国)	826		865	105%
合計	全社販売個数	6,558		5,948	91%
	(うち美ノ国)	1,257		1,372	109%

●主要ブランド売上実績

【（参考） 主要ブランド商品売上高実績（対前年同期比）】



（写真）
『森の薫り』
あらびきウインナー



（写真）
『石窯工房マルゲリータ』

ハム・ソーセージ	2016.03 実績			デリ商品	2016.03 実績		
	上期	下期	通期		上期	下期	通期
シャウエッセン	104%	98%	101%	石窯工房群	107%	100%	104%
森の薫りあらびきウインナー	107%	109%	108%	中華名菜群	100%	97%	99%
ローズハム群	100%	98%	99%	プリフライ群	101%	114%	108%
ベーコン群	89%	77%	83%	ハバグ・ミートボール群	99%	103%	101%
焼豚群	92%	89%	91%	カレー群	101%	116%	108%

●チャネル別売上実績

【（参考）2016年3月期通期 チャネル別伸び率（対前年同期比）】

①コンシューマ商品

ハム・ソーセージは、既存品のブラッシュアップを行いNB商品は回復傾向だが、PB商品の回復が遅れた。デリ商品は、新商品等が好調に推移し昨年並み。

②業務用商品

ハム・ソーセージ、デリ商品共に大型商品の導入が遅れ昨年を下回った。

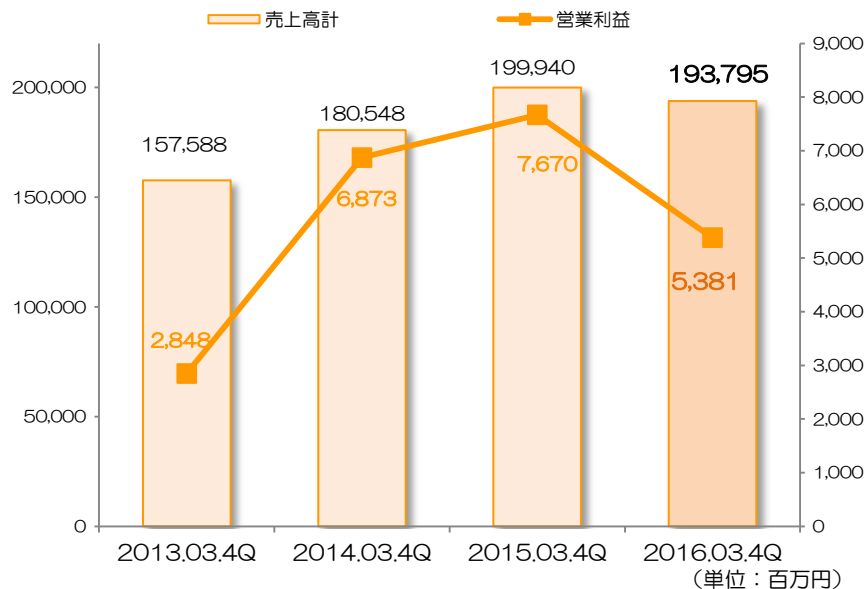
		数量	金額
ハム・ソーセージ	ｺﾝｼｭｰﾏ	95%	96%
	業務用	81%	85%
	合計	91%	94%
デリ商品	ｺﾝｼｭｰﾏ	101%	101%
	業務用	87%	91%
	合計	94%	96%

4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部①

(売上高：百万円)

第4四半期実績

(営業利益：百万円)



	2015.03 4Q	2016.03 4Q	前年差	前年比(%)
売上高計	199,940	193,795	△ 6,145	△ 3.1
営業利益	7,670	5,381	△ 2,289	△ 29.8
営業利益率	3.8%	2.8%	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- 国内食肉相場が昨年より軟調だった事に加え、豪州事業の牛肉販売数量減の影響により減収。

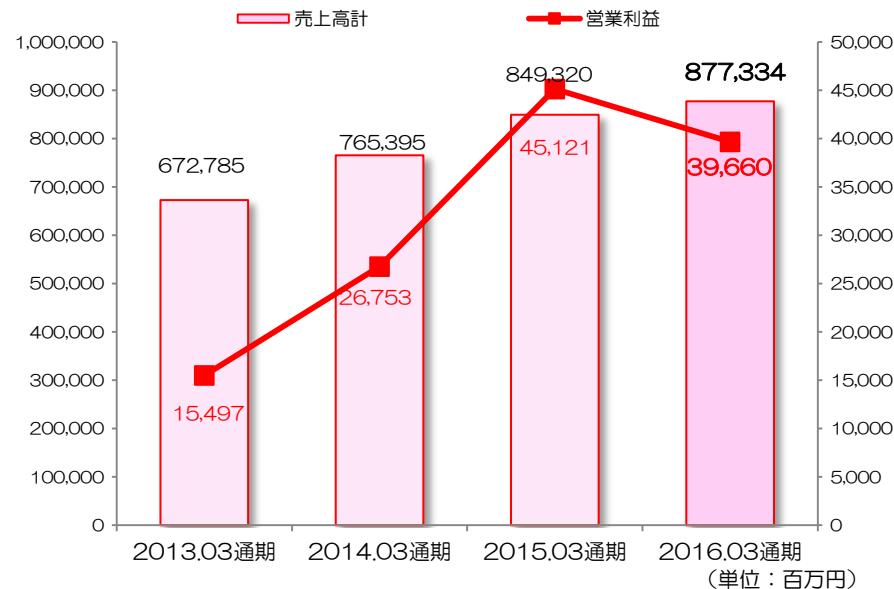
(営業利益)

- フード会社の販売数量・利益共に堅調に推移するも、豪州事業の苦戦により減益。

(売上高：百万円)

通期実績

(営業利益：百万円)



	2015.03 通期	2016.03 通期	前年差	前年比(%)
売上高計	849,320	877,334	28,014	3.3
営業利益	45,121	39,660	△ 5,461	△ 12.1
営業利益率	5.3%	4.5%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

- 上半期の国内相場の堅調とフード会社の販売数量増により増収。

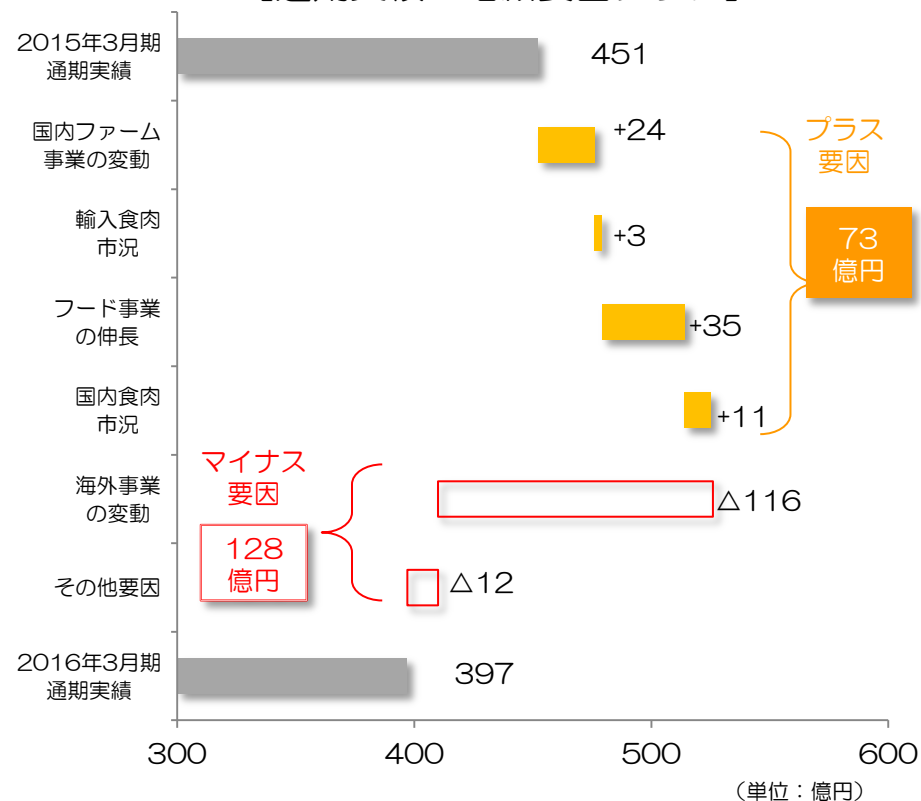
(営業利益)

- 国内事業は過去最高を記録するも豪州、米州事業の環境悪化の影響で減益。

【営業利益増減要因分析】

	2016.03				
	3Q 累計	4Q 実績	通期 計画	通期 実績	計画 差異
国内ファーム事業の変動	30億円	△6億円	17億円	24億円	7億円
輸入食肉市況	15億円	△12億円	10億円	3億円	△7億円
フード事業の伸長	20億円	15億円	16億円	35億円	19億円
海外事業の変動	△103億円	△13億円	△118億円	△116億円	2億円
国内食肉市況	11億円	0億円	8億円	11億円	3億円
その他要因	△5億円	△7億円	△10億円	△12億円	△2億円
合計	△32億円	△23億円	△76億円	△55億円	22億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【通期実績の増減要因グラフ】


● 計画差異要因分析 (2016年3月期通期)

【国内ファーム事業の変動】・・・鶏肉生産を中心にファーム事業が堅調に推移し計画を上回った。

【輸入食肉市況】・・・下期から輸入鶏肉の市場在庫過多の影響により国内相場が下がった為計画を下回った。

【フード事業の伸長】・・・フード会社の販売数量が伸長し計画を大きく上回った。

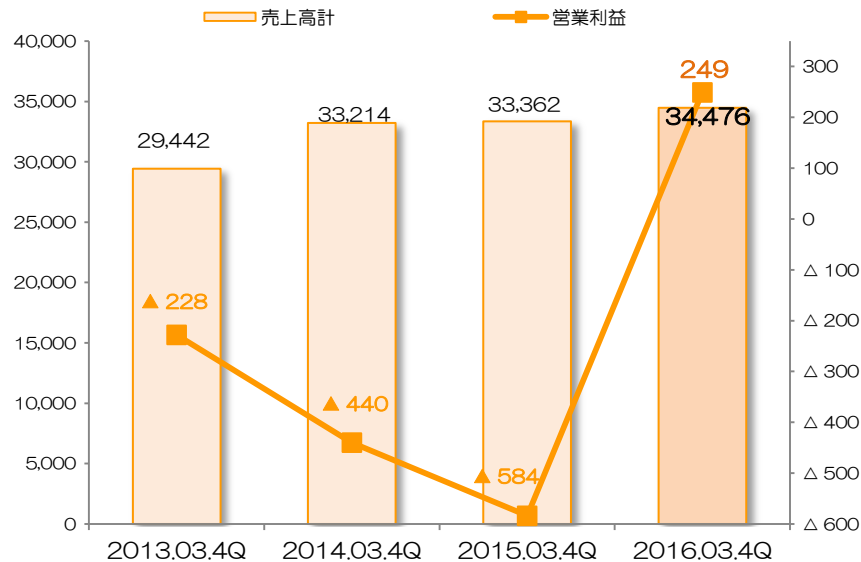
【海外事業の変動】・・・第2四半期以降の豪州事業の環境悪化と、米州養豚事業が米国内豚価低迷により苦戦した。

【国内食肉市況】・・・上半期国内食肉相場が高値で推移した事により計画を上回った。

第4四半期実績

(売上高：百万円)

(営業利益：百万円)



(単位：百万円)

	2015.03 4Q	2016.03 4Q	前年差	前年比(%)
売上高計	33,362	34,476	1,114	3.3
営業利益	△ 584	249	833	-
営業利益率	△1.8%	0.7%	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- 水産事業は量販店チャネルで主力のエビ、鮭鱒商品、自社製造商品が増加し増収。
- 乳製品事業はヨーグルト及びチーズが共に好調で増収。

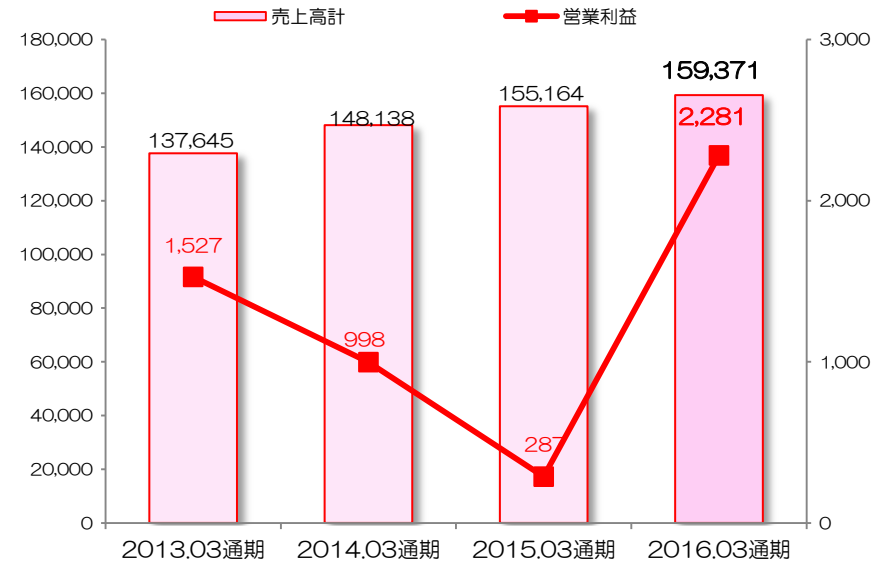
(営業利益)

- 水産事業は量販店向けの販売が増加し増益。
- 乳製品事業はチーズ原料価格の下落や売上増により増益。

通期実績

(売上高：百万円)

(営業利益：百万円)



(単位：百万円)

	2015.03 通期	2016.03 通期	前年差	前年比(%)
売上高計	155,164	159,371	4,207	2.7
営業利益	287	2,281	1,994	694.8
営業利益率	0.2%	1.4%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

- 水産事業は販売価格の上昇と販売数量増で増収。
- 乳製品事業は全般的な販売数量増と販売価格上昇により増収。

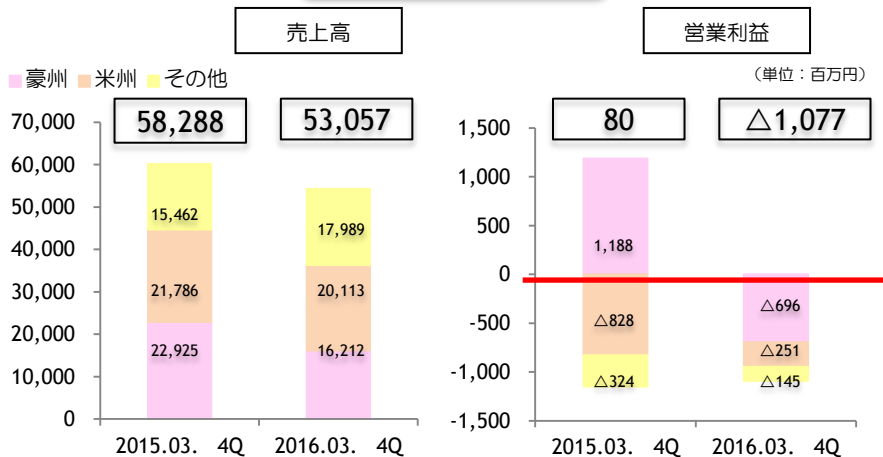
(営業利益)

- 水産事業、乳製品事業共に価格改定を進めた事に加え、販売数量が増加した事により増益。

6. 海外 主要所在地別 業績

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。
 (セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)
 ※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

第4四半期実績



		2015.03 4Q	2016.03 4Q	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	58,288	53,057	△ 5,231	△ 9.0
	営業利益	80	△ 1,077	△ 1,157	-
豪州	売上高	22,925	16,212	△ 6,713	△ 29.3
	営業利益	1,188	△ 696	△ 1,884	-
米州	売上高	21,786	20,113	△ 1,673	△ 7.7
	営業利益	△ 828	△ 251	577	-
その他地域	売上高	15,462	17,989	2,527	16.3
	営業利益	△ 324	△ 145	179	-

【第4四半期の状況】

(豪州)

- 引き続き仕入コストが上昇すると共に、下落した販売価格が戻らず減益。

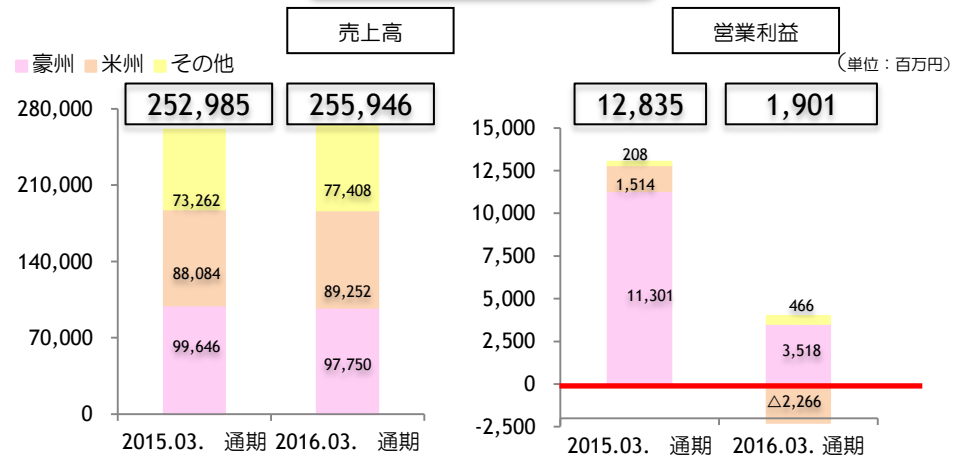
(米州)

- ファーム事業の生産性改善と米国内の豚相場が今年に入り回復傾向になったため改善。

(その他の地域)

- 各アジア地域の販売拠点を活用した日本以外のアジア向け販売と日本向け欧州産豚肉の販売が好調に推移し改善。

通期実績



		2015.03 通期	2016.03 通期	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	252,985	255,946	2,961	1.2
	営業利益	12,835	1,901	△ 10,934	△ 85.2
豪州	売上高	99,646	97,750	△ 1,896	△ 1.9
	営業利益	11,301	3,518	△ 7,783	△ 68.9
米州	売上高	88,084	89,252	1,168	1.3
	営業利益	1,514	△ 2,266	△ 3,780	-
その他地域	売上高	73,262	77,408	4,146	5.7
	営業利益	208	466	258	124.0

【通期の状況】

(豪州)

- 第1Qまで堅調に推移した米国向け販売価格が、第2Qより下落した事に加え、仕入コストの上昇により減収減益に転じた。

(米州)

- 養豚事業において(PEDの影響から)出荷頭数の回復により、豚相場が下落し減益。

(その他の地域)

- トルコ国内において鳥インフルエンザの発生で鶏肉相場が下落し苦戦したが、日本向け欧州産豚肉の販売が好調に推移し増益。

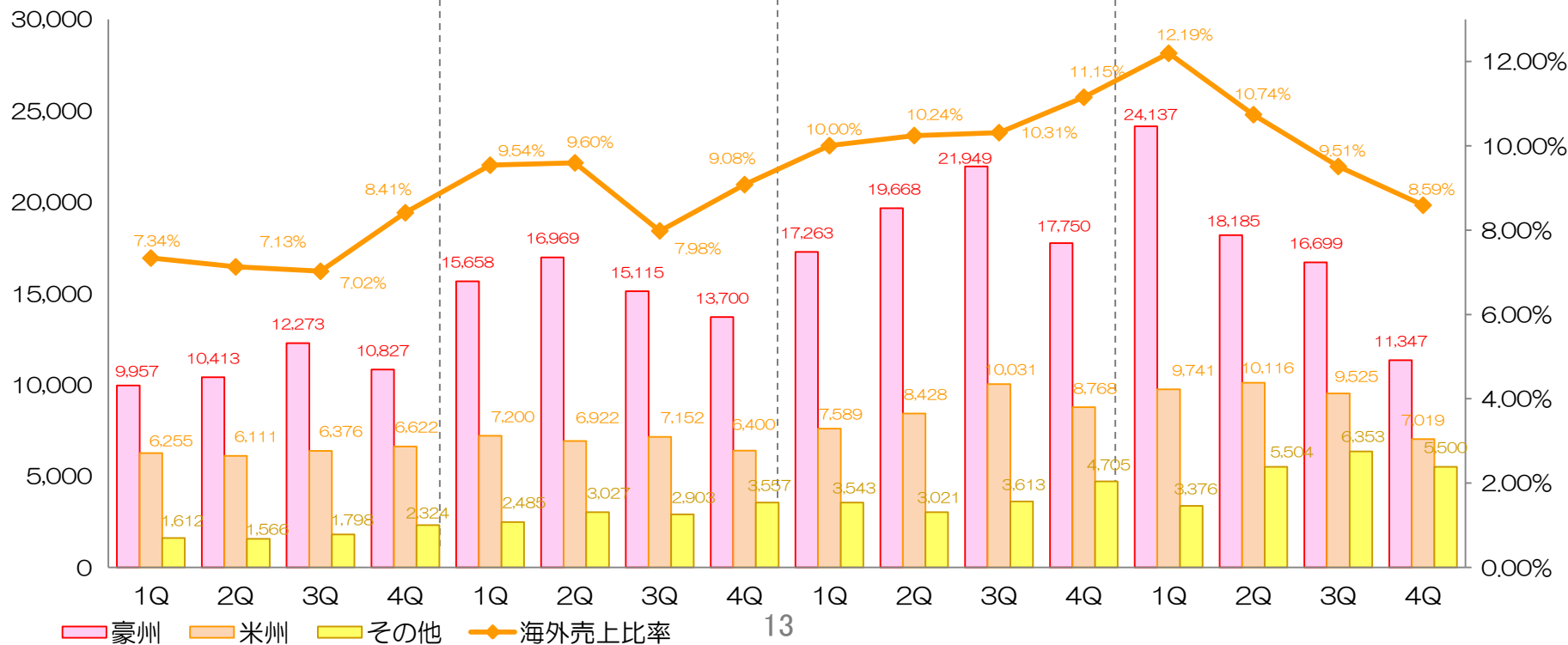
7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績

(単位：百万円)

	2013	2014	2015.03				2016.03					
	通期	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
豪州	43,470	61,442	17,263	19,668	21,949	17,750	76,630	24,137	18,185	16,699	11,347	70,368
米州	25,364	27,674	7,589	8,428	10,031	8,768	34,816	9,741	10,116	9,525	7,019	36,041
その他	7,300	11,972	3,543	3,021	3,613	4,705	14,882	3,376	5,504	6,353	5,500	20,733
海外計	76,134	101,088	28,395	31,117	35,593	31,223	126,328	37,254	33,805	32,577	23,866	127,502
海外売上比率	7.44%	9.01%	10.00%	10.24%	10.31%	11.15%	10.42%	12.19%	10.74%	9.51%	8.59%	10.28%

※売上金額は、外部顧客に対する売上高です。

(売上高：百万円) 【2013.03】 【2014.03】 【2015.03】 【2016.03】 (海外売上比率：%)



Ⅱ. 2017年3月期の見通し

1. 2017年3月期 営業利益計画
2. 2017年3月期計画（加工事業本部）
3. 2017年3月期計画（食肉事業本部）
4. 2017年3月期計画（関連企業本部）
5. 2017年3月期計画（海外事業本部）

1. 2017年3月期 営業利益計画

2016年営業利益実績 新・旧セグメント比較

	2016.03 1Q実績			2016.03 上期実績			2016.03 下期実績			2016.03 通期実績		
	旧	新	差	旧	新	差	旧	新	差	旧	新	差
加工事業本部	1億円	0億円	△1億円	5億円	4億円	△1億円	36億円	34億円	△2億円	41億円	39億円	△2億円
食肉事業本部	116億円	91億円	△25億円	209億円	186億円	△13億円	188億円	203億円	15億円	397億円	389億円	△12億円
関連企業本部	2億円	2億円	0億円	4億円	4億円	0億円	18億円	18億円	0億円	23億円	22億円	△1億円
海外事業本部	-	26億円	26億円	-	22億円	22億円	-	△16億円	△16億円	-	6億円	6億円
消去調整他	0億円	△1億円	△1億円	0億円	1億円	1億円	4億円	6億円	2億円	3億円	7億円	4億円
合計	119億円	119億円	-	218億円	218億円	-	246億円	246億円	-	463億円	463億円	-

2017年営業利益計画（新セグメント体制）

	2017.03 1Q計画			2017.03 上期計画			2017.03 下期計画			2017.03 通期見込み		
	2016.03 1Q実績		増減	2016.03 上期実績		増減	2016.03 下期実績		増減	2016.03 通期実績		増減
加工事業本部	0億円	11億円	11億円	4億円	25億円	21億円	34億円	55億円	21億円	39億円	80億円	41億円
食肉事業本部	91億円	80億円	△11億円	186億円	170億円	△16億円	203億円	185億円	△18億円	389億円	355億円	△34億円
関連企業本部	2億円	5億円	3億円	4億円	12億円	8億円	18億円	18億円	0億円	22億円	30億円	8億円
海外事業本部	26億円	△1億円	△27億円	22億円	3億円	△19億円	△16億円	20億円	36億円	6億円	23億円	17億円
消去調整他	△1億円	0億円	1億円	1億円	0億円	1億円	6億円	2億円	△4億円	7億円	2億円	△5億円
合計	119億円	95億円	△24億円	218億円	210億円	8億円	246億円	280億円	34億円	463億円	490億円	27億円

2. 2017年3月期計画 加工事業本部①

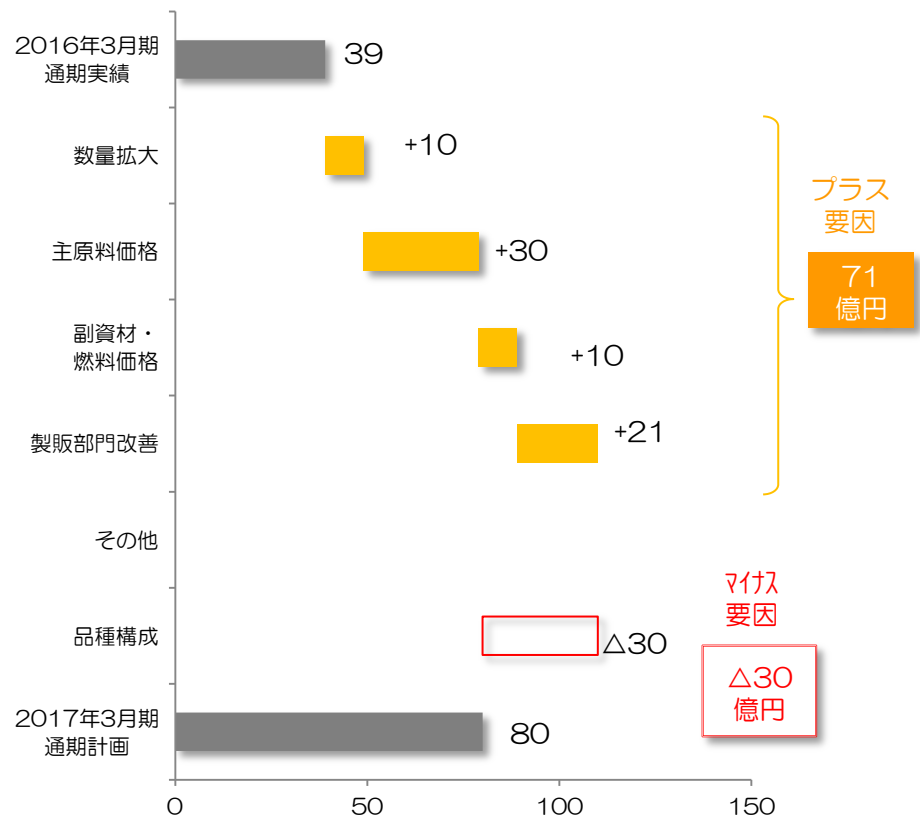
●施策

- ・ブランド価値向上と新カテゴリー、新チャネルの創造による数量拡大。
- ・エリア拠点の拡充とエリア商品の投入による数量拡大

【営業利益増減要因分析】

	2017.03期 計画		
	上期計画	下期計画	通期計画
数量拡大	5億円	5億円	10億円
利益率改善	15億円	16億円	31億円
外部要因	24億円	16億円	40億円
(内訳) 主原料価格	20億円	10億円	30億円
(内訳) 副資材・燃料等	4億円	6億円	10億円
内部要因	△9億円	0億円	△9億円
(内訳) 品種構成(商品リニューアル)	△20億円	△10億円	△30億円
(内訳) 製販部門改善	11億円	10億円	21億円
その他	0億円	0億円	0億円
合計	20億円	21億円	41億円

【通期計画の増減要因グラフ】



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

2. 2017年3月期計画 加工事業本部②

●ギフト売上拡大施策

- ・ 中元、歳暮合わせて昨年比110%伸長計画。
- ・ 『美ノ国』に関しては昨年比123%伸張計画。
(※構成比は26%)
- ・ バリエティーニーズへの対応。
- ・ 商品の世界観を伝える広告宣伝の実施。

(単位：千個)

		2016.03 実績		2017.03 計画	
		個数	前年比	個数	前年比
中元	全社販売個数	2,070	98%	2,070	100%
	(うち美ノ国)	507	118%	563	111%
歳暮	全社販売個数	3,878	87%	4,488	116%
	(うち美ノ国)	865	105%	1,125	130%
合計	全社販売個数	5,948	91%	6,558	110%
	(うち美ノ国)	1,372	109%	1,688	123%

●主要ブランド売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・ 「シャウエッセン」の更なるシェア拡大とブラッシュアップした「森の薫り」、「アンティエ」等の販売強化を行う。

②デリ商品

- ・ 「中華名菜」、「石窯工房」の重点カテゴリー及び新商品の販売強化を行う。

③新カテゴリーの開拓

【(参考) 主要ブランド商品売上高計画 (対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2017.03通期計画	デリ商品	2017.03通期計画
シャウエッセン	102%	石窯工房群	105%
森の薫りあらびきウイパー	115%	中華名菜群	102%
ロースハム群	105%	プリフライ群	108%
ベーコン群	105%	ハバ・グ・ミトール群	104%
焼豚群	110%	カレー群	102%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマー

- ・ ハム・ソーセージ、デリ商品共に、PB対策と販促展開を実施。

②業務用

- ・ 製販の見える化による主カラインの特性を活かした新商品提案を行い、売上拡大、販路拡大を図る。

③エリア戦略の推進

- ・ 地域密着営業の強化と地域性を加味した商品開発の実施。

【(参考) チャネル別 売上高計画 (対前年同期比)】

2017.03 通期計画		金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	104%
	業務用	106%
	合計	104%
デリ商品	コンシューマ	104%
	業務用	108%
	合計	106%

3. 2017年3月期計画 食肉事業本部①

●施策

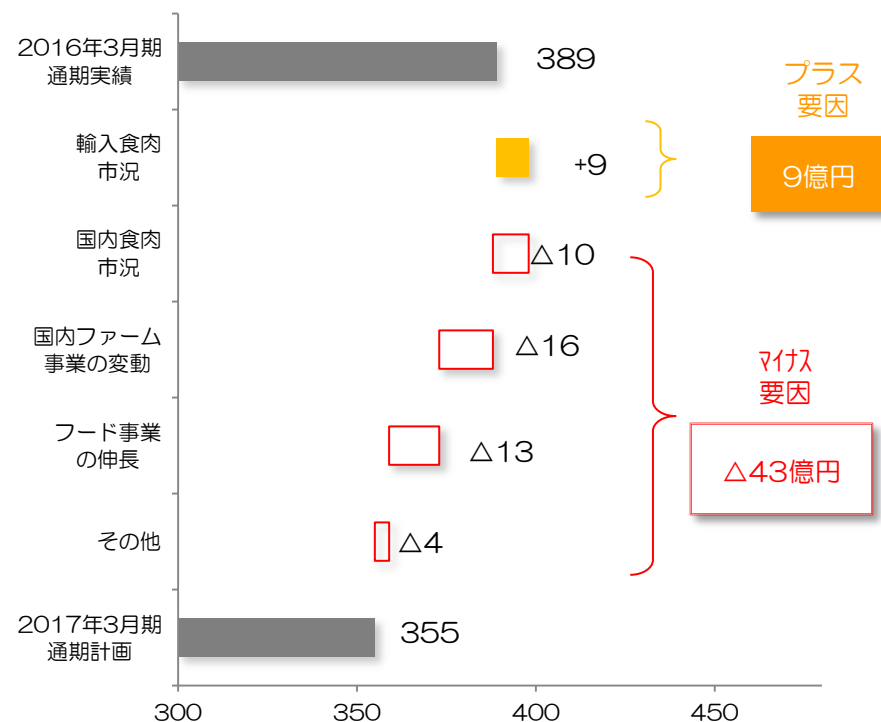
- 【国内生産】・・・ブランド食肉を中心とした増産と飼料等でコスト削減を推進。
- 【国内食肉】・・・牛豚鶏それぞれのブランド食肉を中心に数量拡大を図り、定期定番の獲得を推進。
- 【輸入食肉】・・・CVSチャネルの開拓、外食への深耕販売による数量拡大と、海外仕入先との関係強化を推進。
- 【フード事業】・・・量販店・外食チャネルを中心に国産・輸入ブランド食肉の販売数量を拡大。

【営業利益増減要因分析】

	2017.03月期 計画		
	上期計画	下期計画	通期計画
輸入食肉市況	△6億円	16億円	9億円
国内食肉市況	△3億円	△8億円	△10億円
国内ファーム事業の変動	△10億円	△5億円	△16億円
フード事業の伸長	6億円	△19億円	△13億円
その他要因	△3億円	△1億円	△4億円
合計	△16億円	△18億円	△34億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【通期計画の増減要因グラフ】



3. 2017年3月期計画 食肉事業本部②

●国内生産事業

①飼料価格

- ・穀物相場は世界的な需要は底堅いものの、安定した生産量と円高傾向から同水準か若干下落傾向。

②国内ファーム事業

- ・豚鶏とも市況は2年前の水準に落ち着く見通しのため、処理頭数・羽数増でコスト削減を進める。

●国内食肉市況

- ・上期は豚の処理頭数回復や鶏の堅調な生産量拡大から、豚鶏共にやや弱含みで推移すると予想。

●輸入食肉市況

- ・輸入鶏肉は在庫調整に入っており国内相場が反転の兆候を見せている。
- ・豚肉は現地価格が安定しており、買付・販売しやすい環境が続くと思われる。

●食肉販売（フード会社）

- ・ブランド食肉を積極的に販売し拡販を図る。
- ・新規開拓を進めると共に、ボリュームの大きい量販チャネルの深耕販売とまだ納品比率の低い
外食チャネルの開拓を進める。

4. 2017年3月期計画 関連企業本部

●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・超高压加工機を用いたロングライフチルド商品と新規販売チャネル向け商品の開発や既存商品のブラッシュアップ等により三重工場製品を拡販する。
- ・北海道フェアの実施強化によるたこ製品等の主力商品の拡販と、北海道産原料にこだわった高付加価値商品の開発を行う。
- ・仕入ソースの拡充、グループ（チリ日本ハム、宝幸）連携により原料・商品の調達力を強化する。

(宝幸)

- ・八戸工場の増産体制の構築と販促強化による拡販。

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・ベビーチーズ及びスモークチーズの生産性向上を図り、増産体制を整え拡大する市販用チーズ市場でのシェア拡大を図る。
- ・新規業務用取引先等の多様化するニーズに対して、長年培ったノウハウによる提案（商品開発）を行い業務用のシェアを更に拡大する。

(ヨーグルト)

- ・更なる生産性向上の追及により製造能力拡大を図り、バニラヨーグルトを始めとした主力商品の拡販を図る。
- ・TVCM、店頭やwebと連動した販促により商品プロモーションを強化する。
- ・新たな食べ方提案、継続的な新商品の投入等によりTOP CUPを柱商材へ育成する。

●主原料・副資材価格の動向

- ・水産物は、世界的な需要が増加しており、一部の魚種で短期的な下げはあっても、基本的には上げ基調。
- ・チーズ原料は、原産国の生産拡大と中国経済の減速、ロシアのEU禁輸措置が継続する等で、供給過剰となり、安値継続と見込む。
- ・ヨーグルト原料（脱脂粉乳）は、海外相場は安値が継続するが、国内生乳不足により、国内産は引き続き高止まりを見込む。

●豪州事業

- ・牛頭数の不足の為、通期を通して仕入コスト高が予測される。
- ・米国向け販売価格は徐々に回復傾向にあるが、上期については厳しい状況が続く。
- ・ブランド牛比率を高め、グループ拠点を活かした販売を進め、収益の安定化を図る。

●米州事業

- ・養豚事業については生産効率の向上を計り赤字幅を圧縮する。
- ・米国豚肉相場は徐々に回復傾向。

●アジア・欧州事業

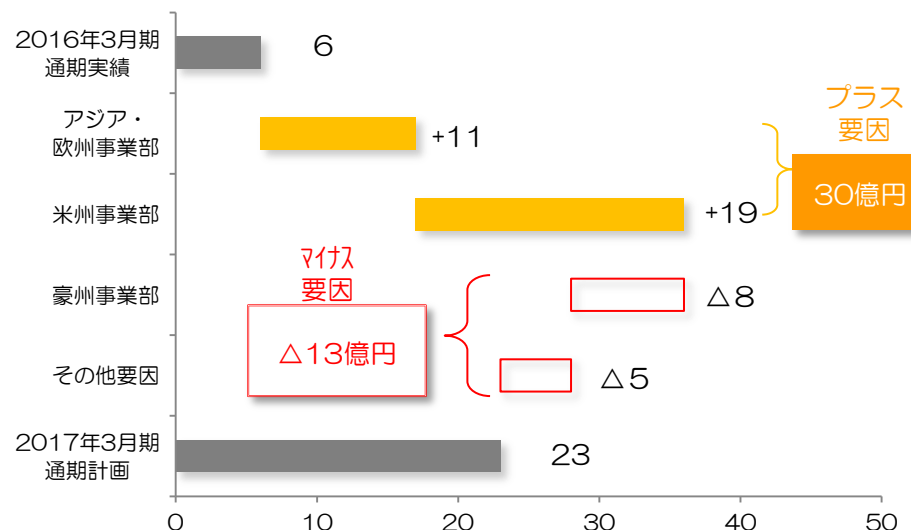
- ・欧州産ブランド豚肉の調達を強化。日本向け以外にグループ拠点を活用したアジアの顧客を開拓し、販売拡大を図る。
- ・Ege-Tav社についてはトルコ国内の鶏肉市況が回復傾向。量販店等の末端へ鶏肉販売を強化する事で売上拡大を図る。

【(参考) 2016.03 通期豪州事業販売実績】

主な販売先国	数量構成比	数量(昨年比)
日本	22%	106%
米国	26%	98%
韓国	11%	99%
中国	8%	117%
台湾	4%	85%
豪州国内	12%	63%
その他	17%	127%
合計	100%	97%

【営業利益増減要因分析】

	2017.03月期 計画		
	上期計画	下期計画	通期計画
豪州事業部	△30億円	22億円	△8億円
米州事業部	10億円	10億円	19億円
アジア・欧州事業部	4億円	7億円	11億円
その他要因	△2億円	△3億円	△5億円
合計	△19億円	36億円	17億円



Ⅲ. 2016年3月期 期末財務データ

1. 2016年3月期連結業績概要及び2017年3月期計画
2. 連結売上区分別伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュ・フロー

1. 2016年3月期連結業績概要及び2017年3月期計画

(単位：百万円、%)

	2016年3月期実績						2017年3月期計画					
	上期 実績	前年比	下期 実績	前年比	通期 実績	前年比	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	620,309	5.6	620,419	△ 0.8	1,240,728	2.3	630,000	1.6	640,000	3.2	1,270,000	2.4
ハム・ソーセージ	69,972	△ 4.9	71,487	△ 6.5	141,459	△ 5.8	73,700	5.3	73,000	2.1	146,700	3.7
加工食品	107,799	2.4	113,509	6.0	221,308	4.2	117,400	8.9	117,900	3.9	235,300	6.3
食肉	363,854	9.5	353,045	△ 1.6	716,899	3.7	362,200	△ 0.5	366,100	3.7	728,300	1.6
牛肉	149,389	12.2	139,587	△ 3.4	288,976	4.1	148,600	△ 0.5	151,900	8.8	300,500	4.0
豚肉	116,858	△ 0.1	116,469	△ 5.8	233,327	△ 3.0	116,300	△ 0.5	117,000	0.5	233,300	△ 0.0
鶏肉	84,892	21.5	85,496	10.5	170,388	15.8	87,300	2.8	87,200	2.0	174,500	2.4
その他食肉	12,715	3.8	11,493	△ 13.5	24,208	△ 5.2	10,000	△ 21.4	10,000	△ 13.0	20,000	△ 17.4
水産	45,191	1.3	49,513	△ 0.6	94,704	0.3	47,500	5.1	50,400	1.8	97,900	3.4
乳製品	15,856	9.4	15,540	10.5	31,396	9.9	16,100	1.5	15,900	2.3	32,000	1.9
その他	17,637	0.9	17,325	△ 7.7	34,962	△ 3.6	13,100	△ 25.7	16,700	△ 3.6	29,800	△ 14.8
売上原価	511,068	6.1	508,436	△ 0.6	1,019,504	2.7						
売上総利益	109,241	2.9	111,983	△ 1.5	221,224	0.7						
売上総利益率	17.6%	—	18.0%	—	17.8%	—						
販売費及び一般管理費	87,447	4.4	87,437	△ 0.1	174,884	2.1						
営業利益	21,794	△ 2.5	24,546	△ 6.0	46,340	△ 4.3	21,000	△ 3.6	28,000	14.1	49,000	5.7
税引前利益	20,743	△ 1.0	11,396	△ 51.7	32,139	△ 27.8	19,000	△ 8.4	25,000	119.4	44,000	36.9
当社株主帰属当期純利益	15,366	2.0	6,413	△ 59.9	21,779	△ 29.9	13,500	△ 12.1	17,500	172.9	31,000	42.3

*米国会計基準を組替えて表示しております。

*前年比は、対前年増減率で表示しております。

*平成28年3月28日に公表した「連結子会社における転籍募集」にて支給が見込まれる特別加算金は加味しておりません。

2. 連結売上区分別伸び率

【連結売上区分別伸び率】

(単位：%)

区分	2015年3月期 (対2014年3月期比)				2016年3月期 (対2015年3月期比)			
	4Q		通期		4Q		通期	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	△ 8.9	△ 2.0	△ 0.1	4.6	△ 4.3	△ 4.7	△ 8.7	△ 5.8
加工食品	△ 5.2	0.3	△ 1.9	2.1	4.2	6.4	1.6	4.2
食肉	△ 1.3	12.8	△ 2.7	11.6	6.9	△ 2.7	6.2	3.7
牛肉	△ 9.6	16.1	△ 5.3	11.3	△ 2.0	△ 5.4	△ 5.1	4.1
豚肉	△ 3.4	9.7	△ 8.0	10.2	3.4	△ 4.3	3.5	△ 3.0
鶏肉	5.6	9.4	4.3	12.0	18.1	6.1	18.9	15.8
その他食肉	27.0	32.1	18.3	27.2	△ 13.9	△ 12.2	△ 9.1	△ 5.2

3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

(単位：百万円、%)

	2015年3月期 通期実績	2016年3月期		
		通期実績	対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
販売費および一般管理費	171,335	174,884	2.1	3,549
人件費	66,132	67,624	2.3	1,492
広告宣伝費	11,187	11,104	△ 0.7	△ 83
★② 物流費	51,280	52,583	2.5	1,303
その他	42,736	43,573	2.0	837

主な増減要因

- ★① 販管費 販管費は約35億円増加したものの 売上高販管費率は14.1% と前年と変わらず。
- ★② 物流費 売上数量拡大により運賃など13億円の増加。

(単位：百万円)

	2015年3月期 通期実績	2016年3月期	
		通期実績	対前年同期増減
★① その他の営業費用及び(△収益)-純額	4,231	12,151	7,920
固定資産関連	4,239	12,160	7,921
その他	△ 8	△ 9	△ 1
その他の収益及び(△費用)-純額	1,678	△ 664	△ 2,342
受取利息・配当金	1,151	1,032	△ 119
為替差損益	△ 88	△ 1,706	△ 1,618
その他	615	10	△ 605
支払利息	1,347	1,386	39

主な増減要因

- ★① その他の営業費用及び(△収益)-純額 トルコ Ege-Tav社のれん減損等の影響で約79億円増加

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

(単位：百万円、%)

《連結貸借対照表》		2015年3月期 期末実績	2016年3月期 通期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	661,567	682,855	3.2	21,288
	現金及び現金同等物	57,404	67,321	17.3	9,917
	売上債権	127,273	128,352	0.8	1,079
★②	棚卸資産	143,107	137,395	△ 4.0	△ 5,712
★③	有形固定資産	252,537	268,172	6.2	15,635
	投資及びその他の資産	41,170	40,515	△ 1.6	△ 655
	長期繰延税金資産	7,067	9,321	31.9	2,254
	負債合計	305,143	321,495	5.4	16,352
	支払手形及び買掛金	94,212	94,420	0.2	208
★④	有利子負債	136,806	154,606	13.0	17,800
	退職金及び年金債務	12,075	14,426	19.5	2,351
	当社株主資本	353,664	356,353	0.8	2,689
	非支配持分	2,760	5,007	81.4	2,247
	資本合計	356,424	361,360	1.4	4,936

主な増減要因

- ★① 資産合計 有形固定資産の増加等で約213億円の増加。
- ★② 棚卸資産 在庫管理を強化し前期末比約57億円の減少
- ★③ 有形固定資産 設備投資額の増加等で約156億円増加
- ★④ 有利子負債 長期借入の増加等で約178億円増加

(単位：百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2015年3月期 通期実績	2016年3月期				2017年3月期 計画
		通期計画	通期実績	対前年増減率	対前年増減額	
設備投資額	35,694	52,200	36,799	3.10	1,105	62,200
生産設備	21,762	20,200	17,065	△21.58	△4,697	20,500
販売・物流設備	2,586	6,400	3,452	33.49	866	9,900
ファーム・処理設備	6,943	10,400	7,749	11.61	806	13,400
海外事業設備	2,764	11,000	4,122	49.13	1,358	10,900
その他設備	1,639	4,200	4,411	169.13	2,772	7,500
減価償却費	18,951	20,000	19,445	2.61	494	20,000

5. 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2015年3月期	2016年3月期		2017年3月期
	通期実績	通期実績	対前年増減額	通期計画
★① 営業活動キャッシュ・フロー	29,681	52,535	22,854	52,500
★② 投資活動キャッシュ・フロー	△ 31,517	△ 49,139	△ 17,622	△ 56,900
財務活動キャッシュ・フロー	△ 17,187	8,182	25,369	△ 3,400

主な増減要因

★① 営業キャッシュ・フローの主な内訳

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
売上債権 (△増) 減	△ 8,929	△ 113	8,816
棚卸資産 (△増) 減	△ 20,259	5,894	26,153

★② 投資キャッシュ・フローの主な内訳

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
設備投資	△ 34,519	△ 37,604	△ 3,085

お問合せ先

〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。